

2017年

12月2日(土)

—12月15日(金)

10:00—17:00 *水曜休

会場:有斐斎 弘道館 2階アートスペース

入館料:500円

*期間中開催の講談×茶会(12/10)、その他講座にご参加の方は無料でご覧いただけます。

*呈茶ご希望の方は別途500円にてお申し込みください。

忠臣蔵との出会いと三段目の魅力

「一度くらいは観てみよう」ではじめた芝居見物。一度で終わらず、忠臣蔵だけで89点の作品ができた。展覧会では展示しきれず、ドローイングや版画が溜まっていった。義太夫協会に入って太棹を買い、師匠につき、忠臣蔵三段目「表門」を初めて弾けたときの驚きと喜び。体を通して伝わる響きに「音を描く」という自分のテーマが蘇った。衣装や背景の色彩とからむ語りと太棹の響き。人間のしたたかさ、脆さ、悲しさを、これほど美しく凝縮させた演劇を、私は知らない。

ゴトウ千香子

*今回の展覧会は五段目《山崎街道》の作品を中心に構成いたします

物語を生きる人、ゴトウ千香子。

歌舞伎、義太夫、バツハ、バルトークの世界を一途に追い、ベンジャミン・ブリテンへの魂を抱く。音を描き、物語を描くのではない。自らを音となり、響き、自らの思想を物語として生きる。

ギャラリー島田 島田誠

ゴトウさんの作品を通して、江戸時代の庶民が熱狂した歌舞伎芝居の世界をお楽しみいただければと思います。また、日本人が永く愛してきた忠臣蔵という作品を通して、現代の日本人が忘れかけている何かをご一緒に思い出さすことができればと思います。

有斐斎弘道館 濱崎加奈子

《会場までの道のり》



○京都市営地下鉄烏丸線「今出川」または「丸太町」駅下車、徒歩8分
○京都駅からタクシーで15分



ゴトウ千香子 歌舞伎 仮名手本忠臣蔵 版画展

有斐斎弘道館 × ギャラリー島田 共催企画